

竹中生徒会新聞

第2号

令和4年

1月

専門委員会を終えて

こんにちは！二回目の生徒会新聞です。今号も楽しんでください！皆さん、三学期が始まって二週間ほど経ちましたがどうですか？三学期は、一月「行く」二月「逃げる」三月「去る」と言われています。三学期はあつという間に過ぎていくという意味です。一日一日を大切に過ごしましょう！

さて、今月の十九日に専門委員会が行われました。委員長さんは初めての委員会となったのでとても緊張したのではないのでしょうか。今回は委員会について伝えていきます！

各委員長に

インタビュー

十九日に初めての委員会を終えた六人の委員長さんに感想を聞いてみました。

学級委員長 中富 琳音さん

初めて委員長として参加したので、とても緊張しました。委員会を終えて先輩からアドバイスを頂いたので、次はそれを生かすことが出来たら良いと思います。



委員会は他学年との交流の場だと思おうので、学年ごと、全体的話し合いを大切に、学年関係なく意見を出し合える委員会にしていきたいです！

保健委員長 藤川 侑正くん

とても緊張しましたが、保健委員のみなさんや先生方が温かい目で見てくださったので緊張もほぐれました。特に、補佐の小野さんがすごくサポートしてくれました。今回はずっと原稿を見てしまったので次回は前を向いて話せるように頑張ります！

美化委員長 所 祐太くん

大変だったけど、委員さんが沢山考えてくれて嬉しかったし、達成感もありました。しかし、原稿をずっと見てしまったので直していきたいです。これから、委員長としてまとめていけるよう頑張ります。



図書委員長 鷗池 愛実さん

反省点を挙げればキリがないですね。ミスの連発で精神的に追い詰められ、西山先輩が委員長だった時が良い環境だったことを改めて感じました。本当に大変でしたが、ふと図書室を眺めた時、この量の本を自分が管理しているという充実感に包まれました。迷惑をかけない委員会を実現させていきたいです。

広報委員長 福田 梨乃さん

少し緊張しましたが、だんだんほぐれていきました。準備はしたつもりでしたが、実際に委員会を進行するのは難しかったです。初めてで少しきこなくなってしまうので、これからしっかりと進めたいです。委員会はよりよい活動を行う為に他の広報委員の人と話し合いができる大切な場なので意見を出しやすい委員会にしたいです。

体育委員長 中茂 佑月さん

目標の説明が不足しており指摘を受けました。次からは完璧にこなす「文句なし」と言ってもらえるように頑張りたいです。また、私はクラスマツチをすることや他の委員会と連携し、相手の役に立つような取り組みをしていきたいと思えます。これから色々な事に挑戦していきますのでご協力よろしく願います。

さて、第二号は楽しんでもらえましたか？今回は委員会について書きましたが何か書いてほしいことがあれば生徒会書記へ言ってくれればと思っています。目安箱に書いても大丈夫です。それでは次回もお楽しみに！

ダジャレコーナー
給食に和食が出なくて
わーしょっく